

### SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト				作成日：令和4年1月10日							企業・団体名：株式会社幸														
カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
			基本	チャレンジ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		会社のルールブックである経営計画書に明記し、全従業員に支給している業務用SNSツールを使用し、全従業員に周知徹底。経営トップが積極的に関与しています。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8			10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		会社のルールブックである経営計画書に明記し、全従業員に支給している業務用SNSツールを使用し、全従業員に周知徹底し、経営トップが積極的に関与しています。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8								16.1		
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		代表者自身が株式会社ワーク・ライフバランス認定ワーク・ライフバランスコンサルタントの資格を取得し、男性育休100%宣言も日本で56番目に行いました。今では有休消化率100%を維持したままで、平均残業時間は17時間ほどとなり、残業0の職員さんも多くいます。										8.5 8.8										
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		外国人労働者を採用した場合に指導・教育ができる(英語等を話することができる)職員がいないため、採用自体を行っていませんが、必要があれば差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備する。					4.4						8.7 8.8			10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		日々、各職員が環境整備を行い毎月1度点検を行っています(新型コロナウイルスの感染状況により中止をしている期間もあります)。											8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・メンタルヘルスのチェックを行うとともに、公益財団法人 日本生産性本部が提供するエナジライザー(略：EZ)や株式会社EGJが提供するエマジェネティクス(略：EG)という心理的安全性を高め、コミュニケーションを円滑化するツール等を行い、心理的不安やストレスの軽減に務めています。 ・業務効率化による労働時間の短縮などへ取り組み、長時間労働によるメンタルヘルス不調の予防を行っています。							3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		就業規則や賃金規則、経営計画書等により時間に制限のある職員やシニアスタッフ等も働きやすい仕組みを作っています。											5.1 5.5				8.5				10.2 10.3	
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・適宜社外研修に参加をさせるとともに、社内研修は毎月4回以上、年間60回以上、開催しています。 ・TV会議システムや、E-learningシステム等を利用して新人教育からキャリアアップ、スキルアップ、リーダースキルアップマネージャースキルアップなどの機会を準備している。											4	5.5			8	9				
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		従来より常勤・非常勤・正社員・パート社員等によらず同一労働同一賃金の原則に基づいた賃金規定等を作成し、全職員に周知しています。											5.5				8.5				10.2 10.3	
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる	●		・RPAツールの導入化などDXによる積極的な業務効率化を進めており、残業時間等の削減に務めるとともに、ダイエット等の健康に関する情報も毎月、定期的に社内チャットツールにて発信しています。また、非常勤職員も会社負担にて検診を受けることができます。 ・2021年「高知家」健康企業宣言を行い、経済産業省「健康経営優良法人2022」に認定されるべく申請済みです。 ・生活習慣病予防検診やインフルエンザ予防接種を実施、再検査や保健指導のフォローを行っています。															8					
11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している	●		コロナ禍以前より、ウェブ会議の導入やデータをクラウドに移行しており、事務業務においては、インターネット環境であればどこでも業務ができる環境を構築しており、社内で感染者が出た場合でもテレワークを行える環境を整備済みです。															8	9.1			11	12	
12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウイズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している	●		2017年より、10代～70代の全従業員にiPhone、iPad、パソコンのうち1端末以上を支給しており、情報共有から業務自動化、業務を同時に行えるクラウド環境の構築など、多くのDXを進めています。															8	9.1			11	12	
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		許可を受けている業者を選定し、廃棄物の処理を行っています。																				
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・電気料金 および ガソリン使用量等は使用明細において把握し、業務においては多種な送迎車両を導入し、送迎ルート効率化、便数削減を図り、必要な支援を継続しつつガソリンエネルギーの使用量削減を図っています。 ・社内の交換可能な電球をすべてLEDに交換しています。														7.3						13
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・ガソリン使用量等は使用明細において把握し、業務においては多種な送迎車両を導入し、送迎ルート効率化、便数削減を図り、必要な支援を継続しつつガソリンエネルギーの使用量削減を図っています。 ・エアコンの設定温度を適切な温度に設定し、温暖化対策に取り組んでいる。														7.2 7.3						12.4 13.3

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本 チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●	当社では法令等で規制されている有害化学物質の使用は行っていません。			3.9			6.3				11.6	12.4						
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●	・ガソリン使用量等は使用明細において把握し、業務においては多様な送迎車両を導入し、送迎ルートの効率化、便数削減を図り、必要な支援を継続しつつガソリンエネルギーの使用量削減を図っています。 ・環境に悪影響を及ぼさないことを配慮した商品優先的に購入するよう心がけています。						6.6								15			
	18	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●	・ITツール等を活用しペーパーレスに取り組むとともに、“環境整備”という社内活動を通じて、必要なものの必要な量の把握につとめ、無駄な購入を控えるとともに、購入のしすぎ等による廃棄物の削減に務めています。 ・土佐水援隊みずいる高知BLUProjectに参加。ペットボトルなどの使い捨て容器の使用量を減らし、環境負荷を低減する取り組みに協賛しています。											12.5		14.1				
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4	11.6 11.a	12.8	13				17.2	
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる	●	・自社の水の利用状況を把握し、利用効率の改善に努めています。 ・節水のために感知式の自動水栓や節水便器、節電のために感知知識ライトを導入してします。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等取得している	●				3.9		6	7						12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	●													12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる	●	・電化製品の買替、更新の機会に極力エネルギー効率のよい機器を導入していく。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	●	・製品、資源を循環させられるよう、より耐久性の高い製品の設計や、リユース、リサイクル可能な製品の購入を意識している。												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる	●	・食品購入の際は賞味期限などを確認し、常備するものは定位置管理により個数を把握し、買いすぎやロスのないように心掛けている。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15	17	
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●	就業規則 第33条に明記し、配布するとともに社内チャットツールにより全職員に周知しています。															16 16.5		
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●	就業規則 第33条に明記し、配布するとともに社内チャットツールにより全職員に周知しています。															16		
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●	就業規則 第33条に明記し、配布するとともに社内チャットツールにより全職員に周知しています。							8.2 8.3		9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●	就業規則 第44条に明記するとともに、月刊誌やホームページ等で社員やお客様の掲載等をする場合は許可を得るとともに、社内確認の上、公開するようにしている。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	●	現状取り扱いはなく、今後も取り扱わない。																16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	●	取引先の活動に関心を持ち、対話を通じ、人権侵害の防止や環境保護等の取り組み状況を確認しています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17



